

全国特別重点調査（優先調査箇所）の結果について

1 調査概要

- ・調査対象は内径2 m以上で平成6年度以前に設置された下水道管
- ・このうち腐食のしやすい箇所などを優先調査箇所として実施
- ・目視又はテレビカメラで管内部の調査を実施し、緊急度Ⅰ又はⅡと判定された場合は路面下の空洞調査を実施

2 調査結果

- ・調査対象延長約15.3 kmのうち優先調査箇所約1.0 kmを調査した結果、花北幹線約1.0 kmで緊急度Ⅱとなりました。
- ・緊急度Ⅱとなった箇所の路面下空洞調査では、下水道管に起因した空洞は確認されませんでした。

幹線名（処理区名）	優先調査箇所	緊急度判定結果	空洞調査結果
中央幹線（都南処理区）	16m	異常なし	—
花北幹線（花北処理区）	1,030m	緊急度Ⅱ	異常なし

3 今後の対応

- ・緊急度Ⅱと判定された箇所について、管路の改築に向けた対策工法の検討を進めながら必要な対策を実施します。

【参考】

緊急度	緊急度に応じた対策内容
Ⅰ	原則1年以内に速やかに対策を実施
Ⅱ	応急措置を実施した上で、5年以内に対策を実施

【位置図】 中 央 幹 線

中心座標値(39.66483, 141.15285)

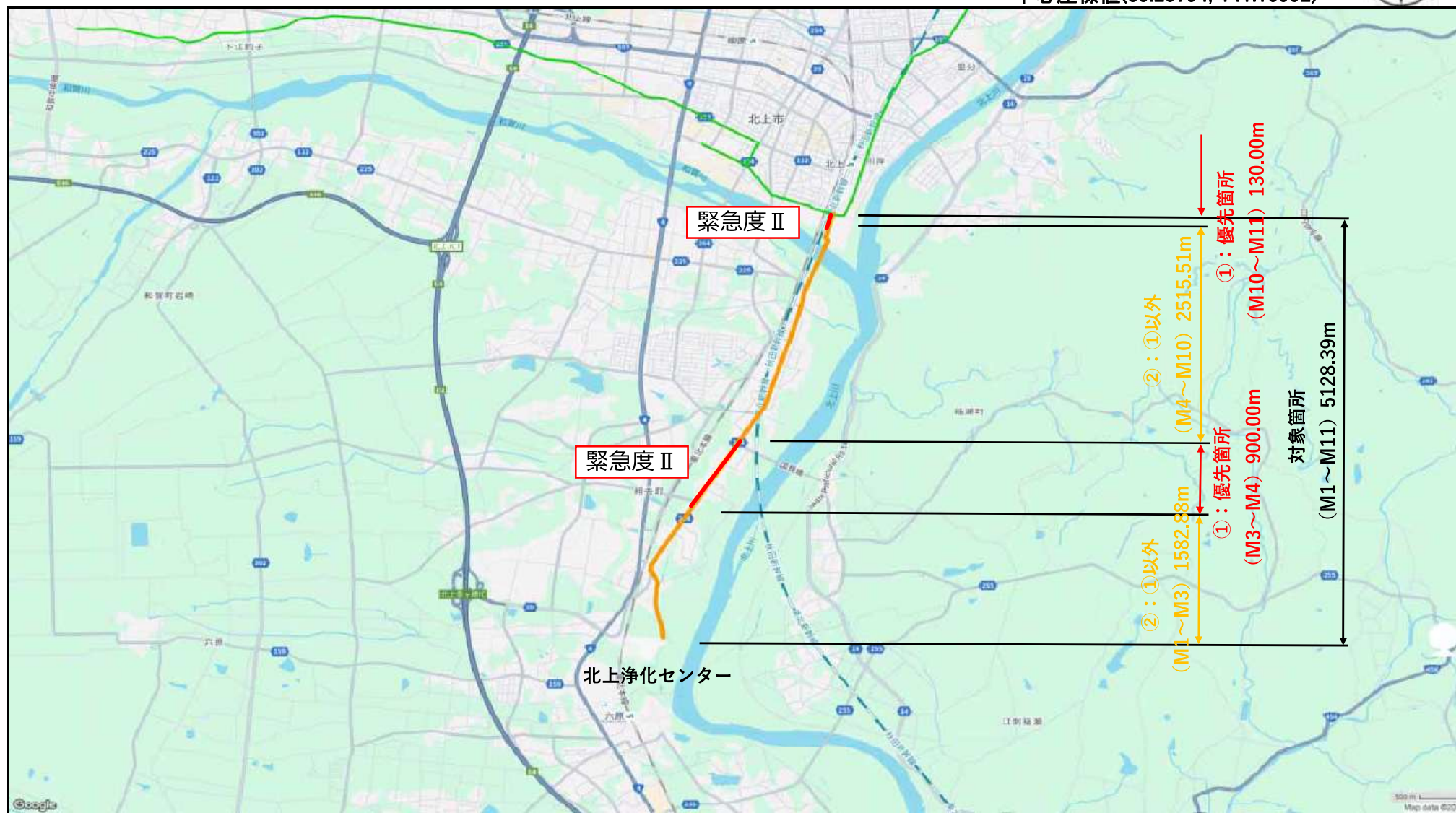


地理院地図(承認番号 平27情複、第93号)

※第三者へ配布する場合、必ず上記の各番号を併記してください。また、外部公表資料として利用する場合、別途申請が必要となります。

【位置図】 花 北 幹 線

中心座標値(39.25794, 141.10992)



地理院地図(承認番号 平27情複、第93号)

※第三者へ配布する場合、必ず上記の各番号を併記してください。また、外部公表資料として利用する場合、別途申請が必要となります。